

公 開
資 料 3

第 3 5 7 回 幹 事 会
公 開 審 議 事 項

令和5年10月27日

日 本 学 術 会 議

公開審議事項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定等	
Ⅲ 公開審議事項						
1. 規則関係						
提案1	「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」の一部を改正すること	会長	5	「日本学術会議分野別委員会及び分科会等について」について、改正を行う必要があるため。	会長	—
提案2	「課題別委員会の在り方について」等の一部を改正すること	会長	7	「課題別委員会の在り方について」及び「課題別委員会の設置及び報告に係る指針について」について改正を行う必要があるため。	会長	—
2. 委員会関係						
提案3	(幹事会附置委員会) 広報委員会 (1)設置及び運営要綱の決定 (2)委員会委員の決定 (新規1件)	会長	11	日本学術会議全体として広報の実施に取り組み、戦略性をもった広報の実施についての検討・対応を行うため、日本学術会議会則第25条第1項の幹事会附置委員会として委員会の設置及び運営要綱を決定するとともに、委員会委員を決定する必要があるため。	磯副会長	(1)会則第25条1項 (2)内規第12条2項
提案4	(幹事会附置委員会) 財務委員会 設置及び運営要綱の決定	会長	13	日本学術会議に係る予算執行のうち重要な事項について審議するため、日本学術会議会則第25条第1項の幹事会附置委員会として委員会の設置及び運営要綱を決定する必要があるため。	三枝副会長	会則第25条1項
提案5	(機能別委員会) 選考委員会 委員会委員の決定 (新規1件)	会長	15	選考委員会委員を決定する必要があるため。	会長	内規12条2項
提案6	(機能別委員会) 科学者委員会 委員会委員の決定 (新規1件)	科学者委員会委員長	17	科学者委員会委員を決定する必要があるため	三枝副会長	内規12条2項
提案7	(機能別委員会) 科学と社会委員会 委員会委員の決定 (新規1件)	科学と社会委員会委員長	19	科学と社会委員会委員を決定する必要があるため	磯副会長	内規12条2項
提案8	(機能別委員会) 国際委員会 委員会委員の決定 (新規1件)	国際委員会委員長	21	国際委員会における委員を決定する必要があるため。	日比谷副会長	内規12条2項
提案9	(分野別委員会) (1)運営要綱の一部改正 (新規設置6件) (2)分科会委員の決定 (新規6件)	(1)心理学・教育学委員会委員長、基礎生物学委員会委員長、統合生物学委員会委員長、農学委員会委員長、食料科学委員会委員長、総合工学委員会委員長、機会工学委員会委員長 (2)第二部長、第三部長	23	分野別委員会における分科会の暫定設置に伴い、運営要綱を一部改正するとともに、分科会委員を決定する必要があるため。	第二部長、第三部長	(1)会則27条1項 (2)内規18条

提案10	(分野別委員会) (1)分科会委員の決定 (新規8件、追加1件) (2)小委員会委員の決定 (新規3件)	第二部長、第三部長	37	分野別委員会における分科会委員及び小委員会委員を決定する必要があるため。	第二部長、第三部長	内規18条
提案11	(若手アカデミー) 会員の決定(新規1件)	会長	45	若手アカデミーの会員を決定する必要があるため。	三枝副会長	若手アカデミー運営要綱第3の2及び第8の2
3. シンポジウム等						
提案12	公開シンポジウム「法獣医学を解く」の開催について	食料科学委員会委員長、農学委員会委員長	49	主催：食料科学委員会獣医学分科会、食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会 日時：令和5年12月9日(土)13:30～16:00 場所：日本獣医生命科学大学(東京都武蔵野市)及びオンライン ※第二部承認	—	内規別表第2
提案13	日本学術会議中部地区会議学術講演会「微生物がつなぐ文理融合研究—野生酵母クラフトビールと地域振興」の開催について	科学者委員会委員長	51	主催：日本学術会議中部地区会議 日時：令和5年12月15日(金)13:00～16:00(予定) 場所：静岡大学静岡キャンパス(静岡市駿河区)(ハイブリッド開催) ※科学者委員会承認	—	内規別表第2
提案14	公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」の開催について	統合生物学委員会委員長、心理学・教育学委員会委員長、基礎生物学委員会委員長	53	主催：統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同行動生物学分科会 日時：令和6年1月21日(日)12:00～16:00 場所：オンライン ※第二部承認	—	内規別表第2
4. 後援						
提案15	国内会議の後援をすること	会長	55	以下について、後援の申請があり、関係する部、委員会に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。 ①第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和5年度) ②第97回日本薬理学会年会 生理学会・解剖学会共催シンポジウム「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究」 ③2023年度衝撃波シンポジウム ④シンポジウム「東洋学・アジア研究の最前線—AIの活用と課題—」	会長	後援名義使用承認基準3(2)ウ

5. その他

	件名	資料(頁)
参考	今後の総会及び幹事会開催予定 今後の幹事会及び総会の日程につきご確認ください。次回幹事会は11月27日(月)14:30～開催予定。	57

日本学術会議分野別委員会及び分科会等について（平成 20 年 10 月 23 日日本学術会議第 67 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正 後	改正 前
<p>I 日本学術会議会員及び連携会員について</p> <p>1～2（略）</p> <p>3. 委員の任期 分野別委員会委員の任期は、<u>令和 8 年 9 月 30 日</u>までとなります。分野別委員会に置かれる分科会委員の任期も、原則として<u>令和 8 年 9 月 30 日</u>までとなりますが、設置期限を付した分科会の委員の任期は、当該設置期限までとなります。</p> <p>II～IV（略）</p> <p>V①～⑥（略）</p> <p>⑦ 勧告、答申、要望、声明、提言、回答（以下、「勧告等」という。）の案は、承認を得る幹事会の14日前までに事務局まで完結した案文を提出してください。その後、事務局は速やかに幹事会構成員に送付します。上記期限に間に合わない場合は、次回以降の幹事会での審議となります。</p> <p>ただし、期末においては、集中を回避し、幹事会での十分な審議期間を確保するため、<u>勧告等の案の提出の最終期限について</u>は、改めて幹事会で定めるものとします。当該最終期限までに提出がなかった場合は、幹事会に付議できないことがありますので御留意ください。</p>	<p>I 日本学術会議会員及び連携会員について</p> <p>1～2（同左）</p> <p>3. 委員の任期 分野別委員会委員の任期は、<u>令和 5 年 9 月 30 日</u>までとなります。分野別委員会に置かれる分科会委員の任期も、原則として<u>令和 5 年 9 月 30 日</u>までとなりますが、設置期限を付した分科会の委員の任期は、当該設置期限までとなります。</p> <p>II～IV（同左）</p> <p>V①～⑥（同左）</p> <p>⑦ 勧告、答申、要望、声明、提言、回答（以下、「勧告等」という。）の案は、承認を得る幹事会の14日前までに事務局まで完結した案文を提出してください。その後、事務局は速やかに幹事会構成員に送付します。上記期限に間に合わない場合は、次回以降の幹事会での審議となります。</p> <p>ただし、期末においては、集中を回避し、幹事会での十分な審議期間を確保するため、<u>勧告等の案の提出の最終期限を、令和 5 年 3 月 31 日</u>までに改めて幹事会で定めるものとします。当該最終期限までに提出がなかった場合は、幹事会に付議できないことがありますので御留意ください。</p>

⑧～⑨（略）	⑧～⑨（同左）
VI～VII（略）	VI～VII（同左）

附 則（令和5年 月 日日本学術会議第 回幹事会決定）
この決定は、決定の日から施行する。

課題別委員会の在り方について（平成 18 年 3 月 23 日日本学術会議第 10 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>1. (略)</p> <p>2. 課題別委員会の要件 学際的・分野横断的で緊急に意思の表出が必要な政策課題、政府等から検討の依頼があった課題であるなど日本学術会議として審議することが社会的に求められている課題、または社会的に必要であって日本学術会議から社会に<u>意思の表出等</u>を行う必要があると考えられる課題</p> <p>3. 課題別委員会の運営方針 (1) (略)</p> <p>(2) 設置手続 日本学術会議の運営に関する内規（平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）第 7 条及び第 11 条による。</p> <p>(3) ～ (5) (略)</p>	<p>1. (同左)</p> <p>2. 課題別委員会の要件 学際的・分野横断的で緊急に意思の表出が必要な政策課題、政府等から検討の依頼があった課題であるなど日本学術会議として審議することが社会的に求められている課題、または社会的に必要であって日本学術会議から社会に<u>意思の表出</u>を行う必要があると考えられる課題</p> <p>3. 課題別委員会の運営方針 (1) (同左)</p> <p>(2) 設置手続 日本学術会議の運営に関する内規（平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）第 7 条及び第 11 条による。<u>なお、設置提案及び委員の選考等については、会長が必要と認める場合は、幹事会への議案提出前に、あらかじめ、科学と社会委員会課題別審議検討分科会の調整を経るよう求めることができるものとする。</u></p> <p>(3) ～ (5) (同左)</p>

附 則（令和 年 月 日 日本学術会議第 回幹事会決定）
この決定は、決定の日から施行する。

課題別委員会の設置及び報告に係る指針について(平成19年5月24日日本学術会議第38回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>1～2. (略)</p> <p><u>3. (削除)</u></p>	<p>1～2. (同左)</p> <p><u>3. 報告書作成の支援体制</u></p> <p><u>(1) 委員会設置時</u></p> <p><u>委員会設置が決まった段階で、科学と社会委員会の課題別審議等査読分科会は、その中から当該委員会を担当する3名(以下「担当委員」という。)を決める。担当委員は、委員会の設置時から報告の了承に至るまで、オブザーバーとして委員会に出席することができ、必要に応じて、検討の経緯や状況等を委員会に問合せ、その結果を科学と社会委員会委員長に連絡する。(当該3名の担当委員は、報告書査読の主担当責任者となる。)</u></p> <p><u>(2) 中間報告</u></p> <p><u>担当委員からの報告に基づき、適切な時期に、科学と社会委員会委員長は、当該課題別委員会委員長に対し、幹事会において次の事項を含む進捗状況を報告するよう、助言する。</u></p> <p><u>① 活動の内容、実績</u></p> <p><u>② 予想外の事態又は遅延が生じているか、当初のスケジュールが維持されているか、当初予定通り、結果を達成できる見通し</u> <u>か。</u></p> <p><u>(3) 報告のとりまとめ</u></p> <p><u>報告のクオリティと戦略性を担保するため、担当委員は、特に報告のとりまとめに際して助言を与えるとともに、科学と社会委</u></p>

	<p><u>員会委員長との連絡を密にし、必要に応じて会長等と協議する。</u></p> <p><u>〔助言を行う際の視点〕</u></p> <p><u>報告内容の質、対外公表のタイミング、関係府省との調整状況等、</u> <u>多角的な観点から助言、勧告を行う。</u></p>
--	---

附 則（令和 年 月 日 日本学術会議第 回幹事会決定）
この決定は、決定の日から施行する。

● 広報委員会運営要綱（案）

〔 令和 5 年 月 日 〕
〔 日本学術会議第 回幹事会決定 〕

（設置）

第 1 広報委員会（以下「委員会」という。）は、日本学術会議会則第 25 条第 1 項に基づく委員会として幹事会に附置する。

（任務）

第 2 委員会は学術会議全体としての広報に関する事項について審議する。

（組織）

第 3 委員会は、会長の指名する副会長、会員又は連携会員 20 名以内をもって組織する。

（設置期限）

第 4 委員会は、令和 8 年 9 月 30 日まで置かれるものとする。

（庶務）

第 5 委員会の庶務は、事務局各課・参事官の協力を得て、事務局企画課において処理する。

（雑則）

第 6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続きその他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

【幹事会附置委員会】

○委員の決定（新規1件）

（広報委員会）

氏名	所属・職名	備考
戸谷 圭子	明治大学専門職大学院グローバル・ビジネス研究科教授	第一部会員
中村 征樹	大阪大学全学教育推進機構教授	第一部会員
美馬 のゆり	公立はこだて未来大学システム情報科学部教授	第一部会員
池邊 このみ	千葉大学グランドフェロー	第二部会員
磯 博康	国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター長	副会長 第二部会員
狩野 光伸	岡山大学副理事・薬学部長・学術研究院ヘルスシステム統合科学学域教授	第二部会員
高山 弘太郎	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授、愛媛大学農学研究科教授	第二部会員
内田 誠一	九州大学院システム情報科学研究科教授	第三部会員
伊藤 公雄	京都産業大学客員教授	連携会員
隠岐 さや香	東京大学大学院教育学研究科教授	連携会員
辻 佳子	東京大学環境安全研究センター教授	連携会員
所 千晴	早稲田大学理工学術院教授、東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
三成 美保	追手門学院大学教授、奈良女子大学名誉教授	連携会員

●財務委員会運営要綱（案）

（ 令 和 5 年 月 日 ）
（ 日 本 学 術 会 議 第 回 幹 事 会 決 定 ）

（設置）

第 1 財務委員会（以下「委員会」という。）は、日本学術会議会則第 25 条第 1 項に基づく委員会として幹事に附置する。

（任務）

第 2 委員会は、日本学術会議に係る予算執行のうち重要な事項について審議する。

（組織）

第 3 委員会は、すべての副会長及び各部長をもって組織する。

（設置期限）

第 4 委員会は、令和 8 年 9 月 30 日まで置かれるものとする。

（庶務）

第 5 委員会の庶務は、事務局各課・参事官の協力を得て、事務局管理課において処理する。

（雑則）

第 6 この要綱に定めるもののほか、議事の手続その他委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

【機能別委員会】

○委員の決定（新規1件）

（選考委員会）

氏名	所属・職名	備考
吉田 文	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	第一部部長、第一部会員
大久保 規子	大阪大学法学部教授、同大学院法学研究科教授	第一部副部長、第一部会員
小田中 直樹	東北大学大学院経済学研究科教授	第一部幹事、第一部会員
西山 慶彦	京都大学経済研究所教授	第一部幹事、第一部会員
神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門放射線医学研究所所長	第二部部长、第二部会員
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患病態解明学特任教授	第二部副部長、第二部会員
奥野 恭史	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学分野教授	第二部幹事、第二部会員
堀 正敏	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室教授	第二部幹事、第二部会員
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部部长、第三部会員
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科研究科長補佐／教授	第三部副部長、第三部会員
奥村 幸子	日本女子大学理学部数物情報科学科教授	第三部幹事、第三部会員
関谷 毅	大阪大学産業科学研究所教授	第三部幹事、第三部会員

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（科学者委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
島岡 まな	大阪大学法学研究科教授／副学長	第一部会員
高橋 裕子	津田塾大学学長・教授	第一部会員
西山 慶彦	京都大学経済研究所教授	第一部幹事、 第一部会員
尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科精神疾患 病態解明学特任教授	第二部副部長、 第二部会員
玉腰 暁子	北海道大学大学院医学研究院教授	第二部会員
古屋敷 智之	神戸大学大学院医学研究科教授	第二部会員
関谷 毅	大阪大学産業科学研究所教授	第三部幹事、 第三部会員
森 初果	東京大学副学長、東京大学物性研究所教 授	第三部会員
森田 一樹	東京大学大学院工学系研究科マテリアル 工学専攻教授	第三部会員

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（科学と社会委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
大久保 規子	大阪大学法学部教授、同大学院法学研究科教授	第一部副部長、第一部会員
鈴木 基史	京都大学大学院法学研究科教授	第一部会員
中村 征樹	大阪大学全学教育推進機構教授	第一部会員
奥野 恭史	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学分野教授	第二部幹事、第二部会員
狩野 光伸	岡山大学副理事／薬学部長／学術研究院ヘルスシステム総合科学学域教授	第二部会員
五斗 進	大学共同利用機関法人システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設教授	第二部会員
竹山 春子	早稲田大学理工学術院教授	第二部会員
北川 尚美	東北大学大学院工学研究科研究科長補佐／教授	第三部副部長、第三部会員
佐田 豊	株式会社東芝執行役上席常務 CTO	第三部会員
多々納 裕一	京都大学防災研究所社会防災研究部門教授	第三部会員

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（国際委員会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小田中 直樹	東北大学大学院経済学研究科教授	第一部幹事、第一部会員
白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
岡村 康司	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
堀 正敏	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室教授	第二部幹事、第二部会員
眞鍋 史乃	星薬科大学薬学部教授／東北大学大学院薬学研究科教授	第二部会員
山口 香	筑波大学体育系教授	第二部会員
大橋 弘美	古河電気工業株式会社シニアフェロー	第三部会員
沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部部長、第三部会員
小口 高	東京大学空間情報科学研究センター教授	第三部会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長	連携会員

分野別委員会運営要綱（平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改正後					改正前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	設置期間
心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	心理学・教育学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同行動生物学分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載		(新規設置)			
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同行動生物学分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載		(新規設置)			
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同行動生物学分科会	1. 令和6年1月21日に開催を予定する公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	18名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和6年1月31日		(新規設置)			
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
農学委員会	農学委員会植物保護科学分科会	1. 令和5年12月2日に開催を予定する公開シンポジウム「害虫・病原体・雑草に対する作物の耐性強化研究の進展」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和6年1月31日	農学委員会	(新規設置)			
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)

	食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会	食料科学委員会に記載	食料科学委員会に記載	食料科学委員会に記載
食料科学委員会	食料科学委員会水産分科会	1. 令和5年12月15日に開催を予定する公開シンポジウム「水産・海洋分野におけるAIの役割と課題」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和6年1月31日
	(略)	(略)	(略)	(略)
	食料科学委員会獣医学分科会	1. 令和5年12月9日に開催を予定する公開シンポジウム「法獣医学を解く」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和6年1月31日

	(新規設置)			
食料科学委員会	(新規設置)			
	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			

	食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会	1. 令和5年12月9日に開催を予定する公開シンポジウム「法獣医学を解く」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	20名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和6年1月31日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会	1. 令和5年12月4日に開催を予定する公開シンポジウム「第13回計算力学シンポジウム」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること	30名以内の会員又は連携会員	令和5年10月27日～令和5年12月31日
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会	総合工学委員会に記載	総合工学委員会に記載	総合工学委員会に記載

	(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
総合工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
機械工学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	(新規設置)			

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同分科会の
設置について

分科会等名：行動生物学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○統合生物学委員会 心理学・教育学委員会 基礎生物学委員会
2	委員の構成	18名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和6年1月21日に公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」をオンラインで開催することに伴い、その準備・開催のため、本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和6年1月21日に開催を予定する公開シンポジウム「科学の再現性と人間の本性」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年10月27日～令和6年1月31日
6	備考	

農学委員会植物保護科学分科会の設置について

分科会等名：植物保護科学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	農学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和5年12月2日に公開シンポジウム「害虫・病原体・雑草に対する作物の耐性強化研究の進展」をオンラインで開催することに伴い、その準備・開催のため、本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和5年12月2日に開催を予定する公開シンポジウム「害虫・病原体・雑草に対する作物の耐性強化研究の進展」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年10月27日～令和6年1月31日
6	備考	

食料科学委員会分科会の設置について

分科会等名：水産学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	食料科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和5年12月15日に公開シンポジウム「水産・海洋分野におけるAIの役割と課題」をオンラインで開催することにとともに、その準備・開催のため、本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和5年12月15日に開催を予定する公開シンポジウム「水産・海洋分野におけるAIの役割と課題」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年10月27日～令和6年1月31日
6	備考	

食料科学委員会分科会の設置について

分科会等名：獣医学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	食料科学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和5年12月9日に公開シンポジウム「法獣医学を解く」を日本獣医生命科学大学(オンライン併用)で開催することに伴い、その準備・開催のため、本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和5年12月9日に開催を予定する公開シンポジウム「法獣医学を解く」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年10月27日～令和6年1月31日
6	備考	

食料科学委員会・農学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：食の安全分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○食料科学委員会 農学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和5年12月9日に公開シンポジウム「法獣医学を解く」を日本獣医生命科学大学(オンライン併用)で開催することに伴い、その準備・開催のため、本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和5年12月9日に開催を予定する公開シンポジウム「法獣医学を解く」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること
5	設置期間	令和5年10月27日～令和6年1月31日
6	備考	

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：計算科学シミュレーションと工学設計分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会、 機械工学委員会
2	委員の構成	30名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	令和5年12月4日にハイブリッドで公開シンポジウム「第13回計算力学シンポジウム」を開催することに伴い、その準備・開催のため本分科会を暫定的に設置したい。
4	審議事項	1. 令和5年12月4日に開催を予定する公開シンポジウム「第13回計算力学シンポジウム」の準備・開催 2. 第26期の分科会の課題精査に係る審議に関すること。
5	設置期間	令和5年10月27日～令和5年12月31日
6	備考	

【分野別委員会】

○分科会委員の決定（新規6件）

（統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会合同行動生物学分科会）

氏名	所属・職名	備考
坂田 省吾	広島大学大学院人間社会科学研究科特任教授／新潟医療福祉大学心理健康科設置準備室教授	第一部会員
明和 政子	京都大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
村山 美穂	京都大学野生動物研究センター教授	第二部会員
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
伊澤 栄一	慶應義塾大学文学部教授	連携会員
巖佐 庸	九州大学名誉教授	連携会員
大坪 庸介	東京大学大学院人文社会系研究科准教授	連携会員
岡ノ谷 一夫	東京大学大学院総合文化研究科教授	連携会員
小野 正人	玉川大学学術研究所所長	連携会員
相馬 雅代	北海道大学理学研究院生物科学部門准教授	連携会員
辻 和希	琉球大学農学部教授	連携会員
飛龍 志津子	同志社大学生命医科学部医情報学科教授	連携会員
山極 壽一	大学共同利用機関法人人間文化研究機構総合地球環境学研究所長	連携会員

【設置予定：第357回幹事会（令和5年10月27日）、決定後の委員数：13名】

（農学委員会植物保護科学分科会）

氏名	所属・職名	備考
渡辺 京子	玉川大学農学部教授	第二部会員
大黒 俊哉	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
小野 正人	玉川大学学術研究所所長	連携会員
水口 亜樹	福井県立大学生物資源学部創造農学科准教授	連携会員

【設置予定：第357回幹事会（令和5年10月27日）、決定後の委員数：4名】

(食料科学委員会水産学分科会)

氏名	所属・職名	備考
大越 和加	東北大学大学院農学研究科教授	第二部会員
潮 秀樹	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員
佐藤 秀一	福井県立大学海洋生物資源学部教授	連携会員
萩原 篤志	長崎大学名誉教授、同・特任研究員、(株)マリンバース・テクニカルアドバイザー	連携会員
古谷 研	創価大学特別教授	連携会員
八木 信行	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	連携会員

【設置予定：第 357 回幹事会（令和 5 年 10 月 27 日）、決定後の委員数：6 名】

(食料科学委員会獣医学分科会)

氏名	所属・職名	備考
堀 正敏	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室教授	第二部会員
石塚 真由美	北海道大学大学院獣医学研究院教授	連携会員
池田 正浩	宮崎大学農学部獣医学科教授	連携会員
関崎 勉	東京大学名誉教授／放送大学客員教授／京都大学大学院医学研究科研究員	連携会員
高井 伸二	北里大学名誉教授	連携会員
芳賀 猛	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻教授	連携会員

【設置予定：第 357 回幹事会（令和 5 年 10 月 27 日）、決定後の委員数：6 名】

(食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会)

氏名	所属・職名	備考
堀 正敏	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学研究室教授	第二部会員
有路 昌彦	近畿大学世界経済研究所教授	連携会員
石塚 真由美	北海道大学大学院獣医学研究院教授	連携会員
池田 正浩	宮崎大学農学部獣医学科教授	連携会員

稲葉 靖子	宮崎大学准教授	連携会員
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員
関崎 勉	東京大学名誉教授／放送大学客員教授／京都大学大学院医学研究科研究員	連携会員
高井 伸二	北里大学名誉教授	連携会員
西澤 真理子	株式会社リテラジャパン代表取締役	連携会員
芳賀 猛	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻教授	連携会員

【設置予定：第 357 回幹事会（令和 5 年 10 月 27 日）、決定後の委員数：10 名】

(総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
越塚 誠一	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授	第三部会員
高木 周	東京大学大学院工学系研究科教授	第三部会員
伊藤 恵理	東京大学先端科学技術研究センター教授	連携会員
伊藤 宏幸	ダイキン工業株式会社テクノロジーイノベーションセンターリサーチコーディネーター	連携会員
大島 まり	東京大学大学院情報学環教授	連携会員
大出 真知子	国立研究開発法人物質・材料研究機構構造材料研究センター計算構造材料グループ主任研究員	連携会員
大林 茂	東北大学流体科学研究所教授	連携会員
金田 千穂子	東北大学国際集積エレクトロニクス研究開発センター教授	連携会員
河合 宗司	東北大学大学院工学研究科教授	連携会員
岸本 喜久雄	東京工業大学名誉教授	連携会員
北村 隆行	京都大学総長特別補佐	連携会員
小林 広明	東北大学大学院情報科学研究科教授	連携会員
小山田 耕二	大阪成蹊大学データサイエンス学部学科長／教授	連携会員

坂本 真樹	電気通信大学大学院情報理工学研究科情報学専攻教授、副学長	連携会員
佐々木 直哉	立命館大学総合科学技術研究機構客員教授／山形大学客員教授／産業技術総合研究所機能材料コンピューテーショナルデザイン研究センター招聘研究員	連携会員
渋谷 陽二	大阪大学大学院工学研究科教授	連携会員
高田 章	ロンドン大学特任教授	連携会員
高橋 桂子	早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所上級研究員／研究院教授	連携会員
所 千晴	早稲田大学理工学術院 教授／東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
藤井 孝藏	東京理科大学工学部情報工学科教授	連携会員
藤代 一成	慶應義塾大学理工学部情報工学科教授	連携会員
松尾 亜紀子	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員

【設置予定：第 357 回幹事会（令和 5 年 10 月 27 日）、決定後の委員数：22 名】

【分野別委員会】

○分科会委員の決定（新規 8 件）

（基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 IUPAB 分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
岡田 眞里子	大阪大学蛋白質研究所教授	第二部会員
片岡 幹雄	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	連携会員
永井 健治	大阪大学産業科学研究所教授	連携会員
難波 啓一	大阪大学大学院生命機能研究科特任教授／ 理化学研究所放射光科学研究センター副センター長	連携会員
西坂 崇之	学習院大学理学部物理学科教授	連携会員
野地 博行	東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻教授	連携会員
林 久美子	東京大学物性研究所教授	連携会員
原田 慶恵	大阪大学蛋白質研究所教授	連携会員
坂内 博子	早稲田大学理工学術院教授	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：9 名】

（食料科学委員会・農学委員会合同 CIGR 分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
後藤 英司	千葉大学大学院園芸学研究院教授	第二部会員
高山 弘太郎	豊橋技術科学大学大学院工学研究科教授/愛媛大学大学院農学研究科教授	第二部会員
飯田 訓久	京都大学教授	連携会員
伊藤 博通	神戸大学大学院農学研究科教授	連携会員
遠藤 良輔	大阪公立大学大学院農学研究科緑地環境科学専攻講師	連携会員
大橋 敬子	玉川大学農学部先端食農学科教授	連携会員
岡安 崇史	九州大学大学院農学研究科教授	連携会員
澁澤 栄	東京農工大学卓越リーダー養成機構特任教授	連携会員

高橋 憲子	愛媛大学大学院農学研究科准教授	連携会員
仁科 弘重	愛媛大学学長	連携会員
野口 伸	北海道大学大学院農学研究院長/教授	連携会員
羽藤 堅治	愛媛大学大学院農学研究科教授	連携会員
林 絵理	特定非営利活動法人植物工場研究会理事長	連携会員
福田 弘和	大阪公立大学大学院工学研究科機械系専攻 機械工学分野教授	連携会員
安武 大輔	九州大学大学院農学研究院准教授	連携会員
安永 円理子	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授	連携会員
吉本 真由美	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合 研究機構農業環境研究部門気候変動適応策 研究領域主席研究員	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：17 名】

（基礎医学委員会 IUBMB 分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
五十嵐 和彦	東北大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
佐々木 裕之	九州大学生体防御医学研究所特命教授、九州 大学高等研究院特別主幹教授	第二部会員
門松 健治	名古屋大学統括副総長	連携会員
菊池 章	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
中野 明彦	国立研究開発法人理化学研究所光量子工学 研究センター・副センター長	連携会員
本橋 ほづみ	東北大学加齢医学研究所教授	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：6 名】

（基礎医学委員会 IUPHAR 分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
金井 好克	大阪大学大学院医学系研究科教授	第二部会員
古屋敷 智之	神戸大学大学院医学研究科教授	第二部会員
赤羽 悟美	東邦大学医学部教授	連携会員

池谷 裕二	東京大学大学院薬学系研究科教授	連携会員
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科教授	連携会員
黒川 洵子	静岡県立大学薬学部教授	連携会員
小泉 修一	山梨大学大学院総合研究部医学域教授	連携会員
西谷 友重	和歌山県立医科大学医学部医学科教授	連携会員
新田 淳美	富山大学学術研究部薬学・和漢系教授	連携会員
日比野 浩	大阪大学大学院医学系研究科教授	連携会員
三澤 日出巳	慶應義塾大学薬学部教授	連携会員
南 雅文	北海道大学大学院薬学研究院教授	連携会員
村松 里衣子	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 部長	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：13 名】

(数理科学委員会 IMU 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
伊藤 由佳理	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	第三部会員
小藪 英雄	早稲田大学理工学術院教授/東北大学数理科学共創社会センター教授	第三部会員
齋藤 政彦	神戸学院大学経営学部教授/神戸大学名誉教授	第三部会員
望月 拓郎	京都大学数理解析研究所教授	第三部会員
梶原 健司	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 所長	連携会員
河東 泰之	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員
小谷 元子	東北大学理事・副学長	連携会員
斎藤 毅	東京大学大学院数理科学研究科教授	連携会員
清水 扇丈	京都大学大学院理学研究科教授	連携会員
坪井 俊	武蔵野大学工学部特任教授	連携会員

中島 啓	東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	連携会員
------	----------------------------	------

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：11 名】

(物理学委員会 IAU 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
奥村 幸子	日本女子大学理学部数物情報科学科教授	第三部会員
倉本 圭	北海道大学大学院理学研究院教授	第三部会員
杉山 直	東海国立大学機構副機構長/名古屋大学総長	第三部会員
浅井 歩	京都大学大学院理学研究科附属天文台准教授	連携会員
生田 ちさと	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所学際科学研究系准教授	連携会員
今田 晋亮	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻教授	連携会員
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所教授	連携会員
坂井 南美	国立研究開発法人理化学研究所主任研究員	連携会員
佐々木 晶	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授	連携会員
新永 浩子	鹿児島大学学術研究院理工学域理学系物理・宇宙専攻宇宙情報講座准教授	連携会員
住 貴宏	大阪大学理学研究科宇宙地球科学専攻教授	連携会員
田代 信	埼玉大学大学院理工学研究科教授	連携会員
常田 佐久	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台長	連携会員
中畑 雅行	東京大学宇宙線研究所長	連携会員
林 正彦	日本学術振興会ボン研究連絡センター長	連携会員
深川 美里	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台教授	連携会員
藤井 良一	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所特任研究員	連携会員
藤澤 健太	山口大学時間学研究所長・教授	連携会員

村山 齊	カリフォルニア大学バークレー校物理学科教授／東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構教授	連携会員
山崎 典子	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	連携会員
山田 亨	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	連携会員
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台特任（上席）教授	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：22 名】

(化学委員会 IUCr 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
佐々木 園	京都工芸繊維大学繊維学系教授	第三部会員
井上 豪	大阪大学大学院薬学研究科教授	連携会員
奥部 真樹	Faraday Factory Japan 合同会社主幹研究員	連携会員
片岡 幹雄	奈良先端科学技術大学院大学名誉教授	連携会員
上村 みどり	特定非営利活動法人情報計算法学生物学会 CBI 研究機構量子構造生命科学研究所所長	連携会員
栗原 和枝	東北大学未来科学技術共同研究センター教授	連携会員
黒田 玲子	中部大学先端研究センター特任教授	連携会員
菅原 洋子	北里大学名誉教授	連携会員
富安 亮子	九州大学マス・フォア・インダストリ研究所教授	連携会員
中川 敦史	大阪大学蛋白質研究所教授	連携会員
南後 恵理子	東北大学多元物質科学研究所教授／国立研究開発法人理化学研究所放射光科学研究センターチームリーダー	連携会員
難波 啓一	大阪大学大学院生命機能研究科特任教授	連携会員
西野 吉則	北海道大学電子科学研究所教授	連携会員
森吉 千佳子	広島大学大学院先進理工系科学研究科教授	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：14 名】

(機械工学委員会・総合工学委員会・電気電子工学委員会合同 IFAC 分科会)

氏名	所属・職名	備考
田中 真美	東北大学大学院医工学研究科教授	第三部会員
浅間 一	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
荒井 幸代	千葉大学大学院工学研究院教授	連携会員
新井 史人	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻教授	連携会員
井村 順一	東京工業大学理事・副学長、工学院システム制御系教授	連携会員
岩崎 誠	名古屋工業大学大学院工学研究科電気・機械工学専攻教授	連携会員
榎木 哲夫	京都大学理事／副学長	連携会員
高橋 桂子	早稲田大学総合研究機構グローバル科学知融合研究所上級研究員／研究院教授	連携会員
坂東 麻衣	九州大学大学院工学研究院航空宇宙工学部門教授	連携会員
廣野 陽子	DMG 森精機株式会社 R&D 執行役員 AM 部部长	連携会員
藤崎 泰正	大阪大学大学院情報科学研究科教授	連携会員
藤本 博志	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻教授	連携会員
藤森 真一郎	京都大学大学院工学研究科教授	連携会員
水野 毅	埼玉大学名誉教授・特任教授	連携会員

【設置：第 351 回幹事会（令和 5 年 8 月 29 日）、決定後の委員数：14 名】

○分科会委員の決定（追加 1 件）

(地球惑星科学委員会 IGU 分科会)

氏名	所属・職名	備考
中澤 高志	明治大学経営学部教授	第一部会員
小口 高	東京大学空間情報科学研究センター教授	第三部会員
飯島 慈裕	東京都立大学都市環境学部地理環境学科教授	連携会員
池谷 和信	国立民族学博物館人類文明誌研究部教授	連携会員

石川 徹	東洋大学情報連携学部情報連携学科教授	連携会員
伊藤 香織	東京理科大学創域理工学部建築学科教授	連携会員
小野 裕一	東北大学災害科学国際研究所教授	連携会員
久保 純子	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	連携会員
鈴木 康弘	名古屋大学減災連携研究センター教授	連携会員
埴淵 知哉	京都大学大学院文学研究科准教授	連携会員
谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院理工学研究科教授	連携会員
山田 育穂	東京大学空間情報科学研究センター教授	連携会員
山野 博哉	国立研究開発法人国立環境研究所生物多様性 領域領域長	連携会員
由井 義通	広島大学大学院人間社会科学研究科教授／広 島大学副理事	連携会員
若林 芳樹	東京都立大学大学院都市環境科学研究科教授	連携会員

【設置：第351回幹事会（令和5年8月29日）、追加決定後の委員数：28名】

【分野別委員会】

○小委員会委員の決定（新規3件）

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IMA 小委員会）

氏名	所属・職名	備考
大谷 栄治	東北大学大学院理学研究科名誉教授・客員研究者	連携会員
土屋 旬	愛媛大学地球深部ダイナミクス研究センター准教授	連携会員
西山 忠男	熊本大学大学院先端科学研究部名誉教授	連携会員

【設置：第351回幹事会（令和5年8月29日）、決定後の委員数：21名】

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 COSPAR 小委員会）

氏名	所属・職名	備考
中村 卓司	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構理事、国立極地研究所教授	第三部会員
佐々木 晶	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授	連携会員
佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
常田 佐久	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台長	連携会員
山田 亨	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	連携会員

【設置：第351回幹事会（令和5年8月29日）、決定後の委員数：14名】

（地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会 IASC 小委員会）

氏名	所属・職名	備考
中村 卓司	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構理事、国立極地研究所教授	第三部会員
飯島 慈裕	東京都立大学都市環境学部地理環境学科教授	連携会員
原田 尚美	東京大学大気海洋研究所教授	連携会員

【設置：第351回幹事会（令和5年8月29日）、決定後の委員数：12名】

○若手アカデミー会員の決定（新規 1 件）

氏名	所属・職名	分野	種別
石川 麻乃	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授	統合生物学	連携会員
岩崎 渉	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授	統合生物学 情報学	連携会員
大西 楠テア	専修大学法学部教授	法学	連携会員
緒形 ひとみ	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授	健康・生活科学	連携会員
岡田 随象	東京大学大学院医学系研究科教授	基礎生物学 基礎医学	連携会員
小川 剛伸	京都大学大学院農学研究科助教	食料科学	連携会員
小野 悠	豊橋技術科学大学学長補佐／大学院工学研究科准教授	土木工学・ 建築学	連携会員
加納 圭	滋賀大学教育学系教授	心理学・教育学	連携会員
河岡 慎平	東北大学加齢医学研究所生体情報解析分野准教授／京都大学医生物学研究所臓器連関研究チーム特定准教授	基礎医学 基礎生物学	連携会員
川口 慎介	国立研究開発法人海洋研究開発機構地球環境部門主任研究員	環境学 地球惑星科学	連携会員
川端 美季	立命館大学衣笠総合学術研究機構特別招聘研究准教授	哲学	連携会員
木村 草太	東京都立大学政治学研究科・法学部教授	法学	連携会員
久保 郁	国立研究開発法人理化学研究所脳神経科学研究チームチームリーダー	基礎生物学	連携会員
久保田 好美	独立行政法人国立科学博物館地学研究部環境変動史研究グループ研究主幹	地球惑星科学	連携会員
癸生川 陽子	横浜国立大学大学院工学研究院准教授	化学 地球惑星科学	連携会員
河内山 拓磨	一橋大学大学院経営管理研究科准教授	経営学	連携会員
坂井 南美	国立研究開発法人理化学研究所主任研究員	物理学	連携会員

坂元 晴香	東京女子医科大学医学部衛生学 公衆衛生学分野グローバルヘル ス部門准教授	臨床医学	連携会員
櫻田 涼子	甲南大学経営学部教授	経営学	連携会員
實藤 和佳子	九州大学大学院人間環境学研究 院准教授	心理学・教育学	連携会員
標葉 隆馬	大阪大学社会技術共創研究セン ター准教授	社会学	連携会員
清水 真理子	国立研究開発法人土木研究所寒 地土木研究所寒地農業基盤研究 グループ資源保全チーム主任研 究員	農学	連携会員
新村 毅	東京農工大学大学院農学研究院 教授	食料科学	連携会員
菅野 早紀	大東文化大学経済学部社会経済 学科准教授	経済学	連携会員
杉本 舞	関西大学社会学部社会学科准教 授	史学	連携会員
田井 明	福岡工業大学社会環境学部社会 環境学科准教授	土木工学・ 建築学	連携会員
田川 義之	東京農工大学大学院工学研究院 先端機械システム部門教授	機械工学	連携会員
武田 秀太郎	九州大学都市研究センター准教 授	総合工学 環境学	連携会員
武田 宙也	京都大学大学院人間・環境学研究 科准教授	哲学	連携会員
樽野 陽幸	京都府立医科大学大学院医学研 究科教授	基礎医学	連携会員
寺田 佐恵子	玉川大学リベラルアーツ学部講 師	環境学	連携会員
富永 依里子	広島大学大学院先進理工系科学 研究科准教授	電気電子工学	連携会員
仲上 豪二郎	東京大学大学院医学系研究科健 康科学・看護学専攻老年看護学分 野／創傷看護学分野教授	健康・生活科学	連携会員
中谷 武志	国立研究開発法人海洋研究開発 機構技術開発部海洋ロボティク ス開発実装グループグループリ ーダー代理	総合工学	連携会員

廣野 陽子	DMG 森精機株式会社 R&D 執行役員 AM 部部長	機械工学	連携会員
藤井 一至	国立研究開発法人森林研究・整備 機構森林総合研究所主任研究員	農学	連携会員
藤岡 沙都子	慶應義塾大学理工学部応用化学 科准教授	化学	連携会員
堀 美香	名古屋大学環境医学研究所内分 泌代謝分野講師	基礎医学 臨床医学	連携会員
前川 知樹	新潟大学大学院医歯学総合研究 科高度口腔機能教育研究センタ ー研究教授	歯学 基礎医学	連携会員
南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデ ザイン研究科教授	総合工学 情報学	連携会員
門田 有希	岡山大学学術研究院環境生命自 然科学学域准教授	農学	連携会員
八尾 史	東京大学大学院人文社会系研究 科准教授	哲学	連携会員
安田 仁奈	東京大学大学院農学生命科学研 究科教授	統合生物学 環境学	連携会員
山内 紀子	茨城大学大学院理工学研究科講 師	化学	連携会員

※計 44 名

【参考】

○性別

男性数 = 20 名・女性数 = 24 名

○年齢層（※年齢は令和 5 年 10 月 1 日現在）

・ 35 歳以下 = 1 名

・ 36 ~ 40 歳 = 16 名

・ 41 ~ 44 歳 = 27 名

※最年少 = 34 歳・最年長 = 43 歳

○学問分野

・ 第一部系 = 12 名

・ 第二部系 = 17 名

・ 第三部系 = 15 名

【参照規定】

●若手アカデミー運営要綱（抄）

（若手アカデミー会員）

第3 若手アカデミーは、期ごとに会員又は連携会員（以下、「若手アカデミー会員」という。）をもって組織する。

2 若手アカデミー会員は、45歳未満である会員又は連携会員のうちから、積極的な参加意思を持つ者を選考し、日本学術会議幹事会（以下、「幹事会」という。）が決定する。

3 若手アカデミー会員の構成については、年齢バランスを考慮しつつ、学問分野、男女構成が偏らないように配慮するものとする。

4 一人の会員又は連携会員が若手アカデミーに所属する期間が通算9年に達した場合又は満45歳に達した場合には、その期をもって若手アカデミーへの所属を終えるものとする。ただし、この通算期間には、日本学術会議会則第7条第1項に基づく連携会員として若手アカデミーに所属する期間を含まないものとする。

附 則

（経過措置）

2 上記第3の規定にかかわらず、第23期当初においては、若手アカデミー会員は、就任時に45歳未満の会員又は連携会員30名程度で発足し、その後、増員するものとする。

公開シンポジウム
「法獣医学を解く」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議食料科学委員会獣医学分科会、食料科学委員会・農学委員会合同食の安全分科会
2. 共 催：公益社団法人日本法獣医学会、北海道大学大学院獣医学研究院、日本獣医生命科学大学
3. 後 援：日本獣医学会
4. 日 時：令和5年（2023年）12月9日（土）13：30～16：00
5. 場 所：日本獣医生命科学大学（東京都武蔵野市）（ハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 分科会等の開催：未定

8. 開催趣旨：

近年の動物福祉に関する社会的関心の高まりに伴い、警察による動物虐待の摘発件数が急激に増えてきています。このような社会的背景から、動物の虐待を科学的に鑑定する「法獣医学」の重要性が増しています。法獣医学は、犬や猫などの伴侶動物から、産業動物、野生動物、動物園や動物カフェなどの展示動物など、広範囲の動物を対象としています。このシンポジウムでは、国内で「法獣医学」を実践する研究者や行政の各々の活動を紹介し、法獣医学領域の最先端の情報や課題を共有します。

9. 次 第：

13:30-13:35 開会の挨拶

高井 伸二（日本学術会議連携会員、北里大学名誉教授）

(1) 講演

座長 松本 周（東京都動物愛護相談センター多摩支所長）

木村 享史（北海道大学獣医学研究院教授）

13:35-13:55 「法獣医学の基本」

田中 亜紀（日本獣医生命科学大学獣医学部特任教授）

13:55-14:15 「野生動物の法獣医学」

石塚 真由美（日本学術会議連携会員、北海道大学獣医学研究院教授）

14:15-14:35 「法学からみた法獣医学」

三上 正隆（愛知学院大学法学部教授）

14:35-14:55 「法獣医学の現状の体制と動物虐待を見つけた場合の対応」

高橋 真吾（東京都保健医療局健康安全部健康安全調整担当課長）

14:55-15:15 「法獣医学における大学の役割と取り組み」

木原 友子（日本獣医生命科学大学獣医学部助教）

休憩（15:15-15:30）

（2）総合討論

座長 松本 周（東京都動物愛護相談センター多摩支所長）

15:30-15:50 テーマ「これからの法獣医学」

各講演者及び座長

15:50-16:00 閉会の挨拶

内田 和幸（東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻教授）

10. 関係部の承認の有無：第二部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催分科会委員）

日本学術会議中部地区会議学術講演会
「微生物がつなぐ文理融合研究－野生酵母クラフトビールと地域振興」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議中部地区会議
2. 共 催：静岡大学
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和5年（2023年）12月15日（金）13：00～16：00（予定）
※同日の午前中に中部地区会議運営協議会、科学者懇談会各県幹事との
打合せ会を開催
5. 場 所：静岡大学静岡キャンパス（静岡県静岡市駿河区大谷836）
（ハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 分科会等の開催：無

8. 開催趣旨

2010年代以降日本各地で本格的なクラフトビールの製造が行われるようになってきている。各ブルワリーは製造方法や風味を洗練させるだけでなく、その土地との結びつきを活かし、さまざまな付加価値を付与して、差別化を試みている。そのようなクラフトビール自体に消費者の関心が集まる一方、クラフトビールツーリズム、つまりブルワリーやビアバー巡りによる観光とそれによる地域づくりも注目されるようになってきている。

日本におけるクラフトビールづくりの最先端のひとつが、植物の花などから採取した酵母（野生酵母）を用い製造する試みである。地域の名所、なかでも歴史的に由緒ある寺社や史跡などや、地域住民の愛着ある場所から、野生酵母を採取してクラフトビールに活用すれば、物語性を伴った地域の名産品を生み出せるのではないか。そして大学がこのような取り組みに関われば、野生酵母という微生物を介して、生物学、歴史学、経済学、倫理学等による文理融合研究が可能となり、それを通じて地域に貢献できるのではないか。

今回の学術講演会では、上記の意図により、静岡大学と静岡市、地元企業など産官学が協働して行っているクラフトビールプロジェクトを紹介し、その理論的・実践的意義について個別事例を超えて考えたい。

9. 次 第：

- (1) 13：00～13：10 開会挨拶
静岡大学長 日詰 一幸
- (2) 13：10～13：20 日本学術会議会長挨拶

- 日本学術会議会長 光石 衛
 (日本学術会議会長・第三部会員、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事、東京大学名誉教授)
- (3) 13:20~13:30 主催者挨拶
 日本学術会議中部地区会議代表幹事 高田 広章
 (日本学術会議第三部会員、名古屋大学未来社会創造機構教授)
- (4) 13:30~13:40 科学者との懇談会活動報告
 中部地区科学者懇談会幹事長 松田 正久 (同朋大学学長)
- (5) 13:40~16:00 学術講演会「微生物がつなぐ文理融合研究ー野生酵母クラフトビールと地域振興」
- <講演> ~野生酵母による発酵飲料・発酵食品開発~
- ・丑丸 敬史 (静岡大学学術院理学領域生物科学系列教授)
 「野生酵母に学ぶ多様な微生物世界」
 - ・木村 洋子 (静岡大学学術院農学領域応用生命科学系列教授)
 「地域の野生酵母が生んだ予想外の展開」
- <講演>
- ・松本 和明 (静岡大学学術院人文社会科学領域人間・社会系列准教授)
 「歴史研究と物語性ー家康公クラフトを一例として」
- <講演>
- ・横濱 竜也 (静岡大学学術院人文社会科学領域法学系列教授)
 「日本におけるクラフトビールツーリズムの可能性」
- (6) 16:00 閉会挨拶 (司会)
 日本学術会議中部地区会議運営協議会委員 久木田 直江
 (日本学術会議連携会員、静岡大学名誉教授)

10. 関係部の承認の有無：科学者委員会

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

公開シンポジウム
「科学の再現性と人間の本性」
の開催について

1. 主 催：日本学術会議統合生物学委員会・心理学・教育学委員会・基礎生物学委員会
合同行動生物学分科会
2. 共 催：なし
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和6年（2024年）1月21日（日）12：00～16：00
5. 場 所：オンライン開催
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 分科会等の開催：未定

8. 開催趣旨：

科学は人の活動であり、それは人間の本性の影響を様々な形で色濃く受けると考えられる。再現性は、科学において望まれる特性と考えられている。近年、幾つもの分野で問題となっている再現性の低下は望ましくないことであるが、単純に望ましくないと考えるにとどまらず、科学の再現性が人間の本性とどう関わり、人間の本性の影響をどのように受けているのかを、広い生物学的基盤を見渡して考えることが、再現性の理解に新しい視角をもたらし、再現性の確保にも寄与できる可能性が大きい。また、人間の本性を理解するためには、それを研究する科学はどのようなものであるべきかを考えるとき、どのような方法で証拠を得て再現性をどう確保するかは、欠くべからざる点であり、人間に限らずより広く生物を対象とした科学に対して持つ意味も大きい。そして、人間の本性を理解するための科学のあり方は、科学の再現性及び人間の本性の関係として重要な内容であると考えられる。

9. 次 第：

- 12：00 主催者挨拶・イントロダクション
粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）

12 : 10 「心理学の再現性と一般化可能性：それが低いのはなぜなのか」

平石 界（慶應義塾大学文学部教授）

13 : 05 「科学の再現性とデータ解析の統計的方法」

林 岳彦（国立研究開発法人国立環境研究所主幹研究員）

休憩（14 : 00～14 : 10）

14 : 10 「多感覚統合からどのように心が生成するのか？」

桜田 一洋（慶應義塾大学医学部教授）

15 : 05 人間の本性と科学の再現性についての討論

（司会）粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）

相馬 雅代（日本学術会議連携会員、北海道大学理学研究院生物科学部門准教授）

明和 政子（京都大学教育学研究科教授）

平石 界（慶應義塾大学文学部教授）

林 岳彦（国立研究開発法人国立環境研究所主幹研究員）

桜田 一洋（慶應義塾大学医学部教授）

15 : 29 参加者からの質疑・意見を含めて総合討論

16 : 00 閉会挨拶

粕谷 英一（大阪公立大学理学研究科研究員）

10. 関係部の承認の有無：第二部承認

11. 関係する委員会等連絡会議の有無：無

（下線の講演者等は、主催分科会委員）

○国内会議の後援（4件）

以下について、後援の申請があり、関係する委員会に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。

1. 第41回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和5年度）

主催：公益社団法人日本獣医師会

（日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会）

期間：令和5年12月1日（金）～3日（日）

場所：神戸国際会議場

参加予定者数：約2,000名

申請者：公益社団法人日本獣医師会会長 藏内 勇夫

審議付託先：第二部

審議付託結果：第二部承認

2. 第97回日本薬理学会年会 生理学会・解剖学会共催シンポジウム「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究」

主催：第97回日本薬理学会年会

期間：令和5年12月14日（木）～12月16日（土）

場所：神戸国際会議場

参加予定者数：約360名

申請者：第97回日本薬理学会年会年会長 今井 由美子

審議付託先：第二部

審議付託結果：第二部承認

3. 2023年度衝撃波シンポジウム

主催：日本衝撃波研究会

期間：令和6年3月5日（火）～3月7日（木）

場所：北九州国際会議場

参加予定者数：最大250名

申請者：2023年度衝撃波シンポジウム実行委員会委員長 坪井 伸幸

審議付託先：第三部

審議付託結果：第三部承認

4. シンポジウム「東洋学・アジア研究の最前線－AIの活用と課題－」

主催：東洋学・アジア研究連絡協議会

期間：令和5年12月2日（土）

場所：東京大学国際学術総合研究棟三番大教室

参加予定者数：約70～90名

申請者：東洋学・アジア研究連絡協議会会長 斎藤 明

審議付託先：第一部

審議付託結果：第一部承認

○今後の予定

●幹事会

第358回幹事会	令和5年11月27日(月)	14:30から
第359回幹事会	令和5年12月22日(金)	14:30から
第360回幹事会	令和6年1月25日(木)	14:30から
第361回幹事会	令和6年2月29日(木)	14:30から
第362回幹事会	令和6年3月25日(月)	14:30から
第363回幹事会	第190回総会期間中に開催	
第364回幹事会	令和6年5月31日(金)	14:30から
第365回幹事会	令和6年6月21日(金)	14:30から
第366回幹事会	令和6年7月29日(月)	14:30から
第367回幹事会	令和6年8月30日(金)	14:30から
第368回幹事会	令和6年9月30日(月)	14:30から

●総会